

開 議

○浅野敏明議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、ございません。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、渡部秀樹議員及び赤間泰広議員から、資料の配付について申出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○浅野敏明議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

今泉春江議員の質問

○浅野敏明議長 順位6番、議席番号14番、今泉春江議員。

(14番今泉春江議員登壇)

○14番 今泉春江議員 おはようございます。

日本共産党の今泉春江でございます。

まず最初に、コロナワクチン接種により多くの職員の皆様、また医療関係の皆様におかれましては、きめ細かな対応に心より感謝を申し上げ

げます。ありがとうございます。

それでは、質問に入らせていただきます。

私は、内谷市長に3つの提案と質問をいたします。

まず第1は、高齢者の補聴器購入費助成条例の創設について提案します。

高齢期になると聴力機能が低下し、聞き返しが多く、聞きにくく会話の中に入っていけない、全てにつらいなどの切実な声が寄せられます。

また、社会参加なども聞こえにくいために支障が起きてまいります。さらにコロナ禍、自粛などでお年寄りが孤立するケースや、その影響で認知症の危険も増えているとの報告もあります。

しかし補聴器を早期に軽いうちからつけられるようにすれば、生きがいと社会参加促進になり、認知症対策としても効果があるとされています。しかし補聴器は片耳平均15万円、6万円以下のものもありますが、高額で購入できない、片耳だけで我慢しているなど、不便な生活に甘んじる高齢者が多数います。そこで、補聴器購入費助成をすれば、補聴器購入のきっかけになります。そのために認知症や聴力機能の低下のある高齢者に対し、補聴器の購入費の一部を助成する自治体が全国に広がっています。

まず、東京都の事例です。東京都23区では、補聴器助成制度が15区で制定済みです。2019年から2021年にかけて6区が実施に踏み切りました。練馬区などでは難聴者や補聴器の実態基礎調査が行われ、聞こえの状態、補聴器の使用状況、補聴器を持っていない理由など広範な分野で行われ、区は第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に早期からの認知症予防活動の充実のために、補聴器購入費用の助成を行うことを盛り込みました。これにより、来月の7月から助成制度がスタートします。練馬区の補聴器購入助成制度の対象者は65歳以上の区民税非課税世帯の人、専門医が補聴器の必要性を認めた人。助成限度額は2万5,000円、身体障害者

手帳を持つ高度難聴者の人は対象外となっています。

また、もう一つの事例を紹介します。静岡県長泉町は2013年に補聴器助成制度をスタートさせました。町の長寿介護課の職員は、全国で最初かどうかは分かりませんが、静岡県では最初だと思いますと話されています。しかし、長泉町では請願や市民団体からの要請があったわけではありません。役場の業務の中で、耳が聞こえにくく会話の中に入っていけない、社会参加に支障があるなど、お年寄りが孤立するケースや認知症の危険もあったため、町担当課で起案し、制度化したというものです。他の自治体からの問合せも少なくないと話されています。長泉町の事業の実施要綱の第1条には、聴力低下がある高齢者に対し、補聴器の購入費の一部を助成することにより、高齢者の生きがいがづくりと生活支援及び社会参加の促進を図るとあります。65歳以上で聴力レベルが50デシベル以上70未満の方が対象です。助成額は購入金額の2分の1以内、上限3万円で所得制限はありません。

そこで提案します。長井市の高齢者の難聴、聞こえづらい方々の実態を把握するために調査が必要です。補聴器を使用されている方はどのくらいいるのか、必要だが購入できない方がいないか、なぜ購入できないのかなどの調査も大事かと思えます。基礎調査を実施してください。

そして、新市庁舎では窓口で座って対応できるようになり、市民は落ち着いて相談できます。職員も窓口にいらした高齢者の聞こえの様子などを把握しやすくなりました。担当職員の意見などもお聞きになり、長井市でも全国の事例を参考に補聴器購入費助成を行ってはいかがでしょうか。これによってコロナ禍で困っている商店の助けにもなると思えます。

長井市の場合、この助成金を所得制限なしで助成額を2万5,000円とし、年間20人と試算しても50万円です。30人でも75万円です。3万円

としても年間20人で60万円、30人でも90万円が可能です。この補聴器助成が補聴器購入のきっかけになれば、難聴者の大きな支援となり、認知症対策やフレイルの進行予防にも効果があるのではないのでしょうか。補聴器購入費助成制度創設を提案します。市長の答弁を求めます。

第2に、市道及び生活道路の改修を求めます。

多くの市民が注目した大きな公共施設、長井市民文化会館、新市庁舎、給食共同調理場等の改修や建設が終了いたしました。そこで、今度は市民の安全な生活環境の改善に努めていただきたいと思えます。

その一つにまちなかの市道が大変傷んでおり、改修を求める声が届いています。近年大きな改修は行われていないようですが、消雪の影響などもあり傷みがひどくなっております。まちなかは車の往来も多く、歩道のない道路は歩行者にも危険です。

道路のくぼみが大きくなり、車が通過するたびに大きな音がしたり、マンホールの周りのへこみは車の運転にも注意が必要な場所も多数あります。雨の日にはくぼみにたまった水が歩行者にかかったり、ひどいところは家の玄関にまでかかってしまいます。さらに消雪の水は鉄分があり、水がかかったところはさびが発生し、大変困っているとの声も届いています。また、踏切前は車が一時停止するために道路のアスファルトが波打っていて危険です。これらの市道の改修が急がれます。まちなかの市道の早期改修を求めます。

次に、あら町の石畳の道路が大変傷んでいます。昨年の低温の影響で石畳とアスファルトの境が深くえぐれており、修理のための印が何か所もされていますが、毎年、何か所も同じところが傷んでしまいます。年々ひどくなるようです。当初から石畳のリスクが指摘されていましたが、あら町商店街の皆様や当時の地区長さんたちの強い要望もあり石畳が造られました。し

かし、頻繁に車が通る場所の石畳はすぐ割れてしまい、最近では石でなくアスファルトで修理されているところもあるようです。

また、一番の問題は、消雪の水が石畳の継ぎ目に入り、消雪の効果が半減しています。そのために雪が残り石畳が凍結し、高齢者の転倒もあつたりします。当時積極的に勧めた地域住民の皆様も、近年、石畳のリスクを何とかしてほしいと話されていますが、重要文化的景観の一つでもある石畳を、観光や住民の生活に生かしていくために今後どのような維持管理をなさっていくのかが大きな課題です。

まず、問題箇所の早期の改修を求めるとともに、今後どのような維持管理をなさっていくのか、市長に答弁を求めます。

第3に、市民の生きる励ましになる市民美術館の設立を提案します。

コロナ禍で私たちの生活は大きく変わってきました。全てに自粛が要請され、続いています。コロナ禍のこういうときこそ文化、芸術が大きな励ましになっていることを改めて感じています。

私は、小学生のときから絵を描くことが好きでした。大人になってからは時間もなく絵は描けていませんが、たまに絵手紙などを描き、自画自賛しています。また、絵画が好きですので、旅行に出かけますと必ず美術館を訪れます。青森県では棟方志功美術館や、長野県ではちひろ美術館や碓山美術館などを見て回りました。海外旅行でも必ず美術館は訪ねます。パリのルーブル美術館でのモナリザやロシアのエルミタージュ美術館、イタリア・フィレンツェのウフィツィ美術館のビーナスの誕生など、有名な絵画を見たときの感動は格別です。絵画や彫刻の鑑賞だけではなく、歴史、文化も学習できますし、私にとっては生きるための宝物のような美術館巡りです。今後も機会があれば続けていきたいと思っています。

さて、長井市には日本画の菅原白龍氏、版画家、菊地隆知氏、彫刻家の長沼孝三氏など多くの著名な方々がいらっしゃいます。その方々からは多くの作品を長井市に寄贈されています。今回、菊地隆知氏からは253点という多くの作品を寄贈いただきました。近年、芳文社から彫刻なども寄贈されていますが、どれも長井市にとっては貴重なものばかりです。長沼孝三氏以外は展示場もなく、せっかくの作品もなかなか市民に見ていただく機会がなく、大変残念です。問題は、これらを展示し、市民に鑑賞してもらう場所がないことです。

そして、何よりも市民の皆様の作品を発表、展示する整った場所が必要です。そのために展示する場所をつくらなければなりません。

そんな中、市民の中から市民美術館の設立を求め、署名や会員を募る運動が起こっています。そして美術館の設立を求める要望書が署名とともに市長に出されました。さらに請願も議会に出され、美術館の設立は市民の大きな願いになっています。市民の文化活動を振興させるためにも、展示場所をつくる必要があります。美術館の設立は、文化のまち長井市にするために不可欠なものです。多くの市民の願いである市民美術館の設立を求めます。市長のお考えをお聞かせください。

以上3点を申し上げ、壇上からの提案と質問といたします。

○浅野敏明議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 おはようございます。

今泉春江議員から、大きく3点ほどご提言、またご意見をいただきました。順次お答えを申し上げます。

まず最初に、高齢者の補聴器購入費助成条例の創設についてということで2点ご提案、ご提言等々いただきました。

まず最初に、高齢者の難聴、聞こえづらい実態調査の実施をしてはいかかというご提言で

ございます。

高齢者の聴力機能低下は社会参加に支障を来し、周囲から孤立することとなったり、また認知症発症の要因の一つと捉えております。これは議員からも詳しくお話があったとおりでございます。

地域包括支援センターでは、毎年、70歳と75歳から90歳の方を対象に、高齢者健康調査を実施しておりまして、調査結果により個別的な支援を中心に行ってまいりました。支援の必要な方へ訪問したり、介護予防教室等のサービスにつなげ、要介護状態になるのを予防する取組をしております。

聴覚に問題がある場合は、専門職の助言をお願いしているところでございます。高齢者健康調査の内容として、聴覚についての質問項目を今年度からまずは追加いたしまして、生活の中で不安を感じることを含めて、高齢者の実態や課題、あわせて、長井市の全体的な傾向や対象者数などが把握できないか検討してまいりたいと思っております。

議員がおっしゃるように、難聴者や補聴器の実態基礎調査、こういったものにつなげていかなきゃいけないと考えているところでございます。

最初のご提言の2つ目でございますが、高齢者への補聴器購入費の助成についてでございます。

ただいま答弁申し上げましたとおり、長井市では高齢者の生活機能の維持向上を目的とした介護予防事業を実施するに当たり、これまで個別的な支援を中心に行い、その方に合った運動教室をご案内したり、専門職が訪問指導などを行うこととしております。

高齢者の聴力機能低下が孤立や認知症の原因の一つになっていると思われますので、長井市の高齢者の聴力低下の実態をまず調査させていただきたいと思っております。

現在、国、県からの補助はないため、長井市の単独の一般財源で行うということになりますので、本当に補聴器が必要な方のご苦労というのは、私も両親などを見て本当に大変だなと思っております。ただ、やっぱり全体的に、こういう難聴の方ももちろん、何らかの形で行政のほうで支援をするということも必要だと思いますし、ほかにも様々な病気等々で困っておられる方もいらっしゃいますので、そういったことも含めて総合的にやっぱり考えていきたいと。ただし、山形県内ではないようではございますが、長井市としては、ほかの市町村がしてないからしないということではなく、本当にバランス的にこういった難聴でお悩みの方の支援をするということは、やっぱりいろんな形でこれは必要なことと考えております。

議員ご指摘のとおり、東京都が一番進んでるようでございますが、高齢者の補聴器購入費の助成を既に実施しているところからの情報収集も併せて行いまして、申請状況や実績、評価などを確認して、今後どうするか検討してまいりたいと思えます。

続きまして、2点目の市道及び生活道路の改修についてのご提言についてお答え申し上げます。

初めに、長井市は現在、例えばこの市庁舎が一番古い建物だったわけですが、63年目ということですね。あとは現在工事を行ってる公立置賜長井病院も50年を過ぎておりますし、あと学校給食共同調理場も55年、長井市民文化会館も50年近くなっておったということ。そして平成28年から令和7年までの10年間の公共施設整備計画の中で、まだ未着手のものが南北中学校の大規模改修の工事がございます。それと今年着工予定のいわゆる多機能型図書館と子供の屋内遊戯施設、子育て世帯の応援施設ということで、これは非常に要望が強かったものを、あるいは現在の図書館が非常に耐震度が弱いということ

からこれを行っていくわけですが、そういったものは、やはり何とかこういった施設を、今だといろんな支援があってできるということで行ってきたものですが、一方で、じゃあ快適なっていますかね、暮らしていく上で欠かせない生活道路の整備はおろそかにしてはいけないんじゃないかということ、ではなくて、これはこれでしっかりと、その10年計画の大型公共事業とは別に、毎年計画的に進めているところです。

かつて平成10年頃から平成二十四、五年ぐらいまでは、財政再建の中でこういった生活道路の維持補修も全体的に、いわゆるマイナスシーリングで20%削ったり、あるいは新規の歩道なんかは一切しないで何とか市民の皆様にご協力いただいていたという今までの経過がございますけれども、毎年度、経常経費として道路維持修繕業務委託料というのを行革以前に戻しながら、そういった財源を確保しまして道路を常時良好な状態に保つため、道路の維持修繕を実施しております。

ただ、議員がおっしゃいますように、まちなかは消雪道路が多いもんですから、通常の機械除雪している地域から比べれば、舗装の損傷が大きいと。あとは、指摘ございましたように、どうしても水の関係から穴ぼこができたり、あるいは道路の路肩の部分が壊れたりとか、そういったところが数多いというのは承知しておりますので、この辺のところについては、これから申し上げますけれども、より一層丁寧に、そして危険性のない、そういった状況で修理をしていくということで考えております。

昨年度、令和2年度は、市内全域126の市道路線がございますけれども、607か所の修繕を行っております。令和3年度につきましても、市内6地区のブロックで分けて管理をしておりますが、道路に白いマーキングがされているのをご覧になっているかと思えます。まずは春先にそういったマーキングをして、その後も順次、

やっぱり壊れるところ、あるいは穴ぼこが広がったりとか、そういったところは随時パトロールをしてチェックをしております。そして緊急度の高い箇所から修繕作業を実施しております。

また、マンホール周りについては、上下水道課等の道路専用車で、線路の踏切前後につきましては鉄道事業者で修繕を行うこととなっております。

しかしながら、緊急的な応急措置では対応できなくなっている路線もあることから、それらについては年次計画を立て、社会資本整備総合交付金の防災安全交付金を適用させ、現在も今後も舗装補修工事を行ってまいります。令和3年度は小出南線ほか2路線、幸町中道線、平高野線、大沢線の工事を行う予定です。また、緊急自然災害防止対策事業債の有利な起債事業を活用しまして、西裏線や平山境町線の工事を行う予定でございます。

市には多くの地区や団体から道路改良等のご要望をいただいております。令和3年度では21の地区及び団体から、また道路改良等の要望も33件、交通量や公共性、危険性などにより、優先度を考慮しながら事業に取り組んでおります。

まちなかの市道については、車の交通量も多く、また消雪道路の影響等で道路が傷みやすいため、重点的にパトロールを実施するとともに危険箇所の修繕作業を行い、緊急を要するものについては迅速に対応しております。今後も安全な道路交通環境の推進を図り、幹線道路及び生活道路の安全を確保してまいりたいと思えます。

なお、やはり大がかりな工事については、国の補助事業で社会資本整備総合交付金事業というのがございます。これは5割の補助事業なんです。かつて平成10年頃がピークで、山形県内では現在はその3分の1の事業額になっておりまして、要は3分の1ぐらいにそういった予算は減らされてしまったということで、私ども

も10か所ぐらい今要望を上げてても、2か所か3か所ぐらいしか採択してもらえないという状況でございます。

なお、今年は今幸町中道線が3,020万円、大沢線が256万4,000円、平高野線が1,000万円、小出南線、大屋敷1号線、谷地仲町線、これが3,500万円ということで採択になっております。あと、地方道路整備事業、これは市の単独事業なんですけど、唐梅白兔線1,539万円、向東線1,350万円。あと地方道路整備事業、これは緊急自然災害防止対策事業という非常に有利な起債で行う事業ですが、これで西裏線と平山境町線を行っており、これは舗装補修で4,000万円の事業費でございます。

あと、もう一方、まちなかの、特に庁舎周りの道路につきましては、国土交通省の都市構造再編集中支援事業で長井駅前線、これについては大がかりな工事ということで1億4,868万9,000円、あとはグンゼ通りのほうになりますけれども、西裏線の歩道整備が4,511万4,000円ということになっております。

なお、令和2年度道路補修状況については、先ほど申し上げましたけれども、126路線で607か所の補修をしておりますが、まだまだ不十分と思っておりますが、それを補完する意味で、議員もご承知かと思いますが、協働のまちづくり事業ということで、区内でどうしても緊急に舗装やら、あるいはちょっと改修が必要だ、場合によっては水路も入れ替えしてほしいということに対して、公共事業でやる場合は実施測量から予算をつけて、そしてそこから必要だったならば用地買収とか、そして事業費を設計して工事ということで、少なくとも整備をする決定をしてから着工まで早くても3年ぐらいかかるということで、この協働のまちづくり事業は、1年間の事業は最大で80万円なんですけど、これを地元の方に協力いただいて、地元の建設業の皆さんとか、あるいは重機をお持ちの人などにも

お願いしながら一緒になって工事をするというやり方で、その年に採択をして、最大で2年間継続してできると。最近では5年間ぐらいに延ばして、継続してその事業でやっていくということもやっておりますので、もし本当にどうしても緊急な場合、急ぎという場合は、市のほうでも検討しますが、そういった地区と一緒にやってやるやり方もございますので、ぜひご活用いただけますようにご助言などをいただければ幸いです。

この項の2点目のあら町、石畳の今後の改修計画についてでございます。

堀切糶町線の環境整備工事、石畳舗装工事につきましては、第2期の都市再生整備計画事業において、道の駅川のみなと長井と、それを補完するフットパス整備と併せ、まち歩き観光の一つとして舟運文化のまち並みを色濃く残す沿線とすべく、修景整備の一環として平成25年に完成したものでございます。これはパッケージ事業でございまして、こういった道路整備と、また様々なまちなかのサインを作ったり、そして基幹事業が道の駅ということで行ったものでございますが、本事業の計画に際しましては、市議会でも道の駅の是非の議論とも相まって、全てを石畳にするか車道だけにするか、あるいは散水ではなく無散水が適当なのではないかと様々な議論がなされました。最終的には地元あら町地区との協議の上、全面的に石畳にしたかったんですが、なかなか事業費がかさむということから、車道部の4.0メートルについては脱色舗装で施工いたしまして、両肩、路肩部分です、それぞれ1.5メートルを石畳にして施工して完成しております。

今年で8年の歳月が経過いたしまして、経年劣化が発生しているのも事実でございます。車道がアスファルト、路肩が石畳のために、軟らかい部分と硬い部分の接点が肉痩せを起こして、そこから雨水や消雪水が浸透し、石張りを浮か

せ、剥がれる現象が起きています。現在のところ、パトロールや沿線住民の方の連絡により随時補修を行っているところです。

ここは実際1.5メートルの石畳の部分と車道の部分と、対面から車が来ますと、どうしてもその石畳と舗装の間辺りを車の左のタイヤが通るんですね。どうしてもそこがかたかたかたというのがやっぱり非常に私も気になったんですが、その結果、ちょっと今、あら町地区、地元の皆様にも心配とか迷惑をおかけしてるところなのかなと思っております。

根本的な解決策としましては、消雪巻き立てコンクリートから車道部を含めて全て石畳にするか、あるいは自動車の輪荷重を考慮しまして、石畳を、1メートル50あるんですが、1メートルぐらいまで後退させて、結局、車通るところは舗装ということで、歩いていただくところを、1メートルぐらいちょっと狭くはなるんですが、後退させた上で、アスファルトと石畳の接合部に、地先境界ブロックっていいですかね、間にブロックを置いて、それ以上アスファルトが壊れない、あるいは石畳が壊れないような境界をつくるということで、現場打コンクリートで縁切りを行うかのどちらかが適当だと思われま。ただ、工事費やランニングコストなどを考慮いたしますと、やっぱり全面石畳はお金がまたさらにかかりますので、地元とも相談しますが、そういったことで少し石畳の部分の後退させて、あんまり音もかたかたしなくなりますし、そういったことで行ったほうがいいのかなと思っております。

なお、消雪で今まで石畳にする前は水路の整備がちょっと不十分だったんですけども、石畳を路肩部分に造る際に、消雪の水路の部分併せて整備させていただいたんで、それは非常に地元からは感謝されたと記憶しております。

なお、最初のご質問含めた総合的な社会資本のメンテナンスにつきましては、社会資本の現

状や課題等について知ってもらい、その維持管理、更新について情報の見える化を図っていくことが、道路をはじめとする社会資本のメンテナンスについては重要な課題であることから、その現状や課題について情報の見える化を図り、分かりやすくお知らせすることを目的とした道路施設における損傷マップビューアというものと、各縣市町村ごとの老朽化対策の状況をホームページ上で公開する取組が今年度より始まります。最初は国、県道になりますが、近い将来には市道においても損傷箇所の情報等が把握できるようになりまして、中長期的な効率的な補修計画に役立つと考えております。何とぞよろしくご理解賜りたいと思います。

では、最後に、市民文化会館の設立についてということで、今泉議員からは、文化のまち長井市にするため美術館の設立について提言をいただきました。

(「美術館だぞ」「訂正なされたから」の声あり)

○内谷重治市長 美術館の設立ではないんですか。
(「設立の考え」の声あり)

○内谷重治市長 そうですね、はい。

議員からは、市民の生きる励ましになる市民美術館を設立してはどうかというご提案をいただきました。理想としては、米沢市の上杉博物館のような施設があればいいと思いますが、建てるのであれば特定の者の作品だけではなく、広く市民の皆様の作品なども展示できる施設のほうが望ましいかとは思っています。

しかしながら、単独の美術館は相当な建設費用と維持費、運営費がかかります。コロナウイルス感染症がやがて終息するということだと思いますが、入場者数がどのぐらい見込まれるか、あるいは収益を含めて、その維持管理のための経費をどうするかといったことなども大きな課題だと思っております。

そのため、市で建設し、維持管理、運営する

ことについては現実的になかなか難しいと考えております。

現在、菅原白龍、菊地隆知先生、また長沼孝三先生の各氏の作品は丸大扇屋、長沼孝三彫塑館、元西置賜農業共済組合などに保管しておりますが、どの施設もいっばいでこれ以上保管できる場所がない状況です。また、長沼孝三彫塑館や芳文庫ギャラリーもあります。常設で展示できる施設やスペースも不足しているため、長井市民文化会館や旧長井小学校第一校舎に持ち出して展示しているような状況でございます。

さきに、昨日ですか、勝見議員からのご質問にもお答えしましたとおり、今年度は実際に多くの作品を市民の皆様等に見ていただける機会を増やして、新たな作品の保管、展示施設やスペースの確保、またウェブ上でも見ていただけるよう、文化財のデジタル化を進めてまいりたいと考えております。

また、長井市民文化会館、文教の杜、旧長井小学校第一校舎と連携しまして、各施設の作品の展示会や文化財を活用した芸術文化イベント、シンポジウム等の開催、やまがたアルカディア観光局と連携した事業なども実施していきたいと考えております。

なお、先ほどお話ししました公共複合施設が完成した後は、平成30年2月に最上川上流域における長井の町场景観として国の重要文化的景観に選定された区域のうち、宮・小桜街区を芸術文化エリアとして整備していきたいという考えを持っております。あわせて、文教の杜周辺の空き家、空き店舗などをまちなかギャラリー、まちなか美術館としてリノベーションしながら活用する等々、文化のまち長井を感じられるようなまち歩きの観光交流や、あるいはワークショップの開催、グッズの販売などもこのエリア全体で取り組んでまいりたいと考えております。

まだ検討段階ではございますが、それとは別

に西置賜1市3町の文化施設を相互利用できるようにということで、白鷹町、飯豊町、小国町の文化財を相互に展示したり、あるいは交流したりして、西置賜全体を芸術文化エリアとすることなども検討しております。

簡単に申し上げますと、一つの例としては、長井市の長井市民文化会館、おかげさまでこれ、リニューアルオープンしたわけですが、私どもとしては白鷹町のあゆ一むとか飯豊町のあ〜すなんか場合によっては使わせてもらってるわけですけど、例えば長井市民が白鷹町の施設を使わせてもらう場合も、白鷹町の町民と同じような料金で使えると。一方で、長井市の市民文化会館を使う場合も、白鷹町であったり飯豊町であったり小国町の皆さんも市民と同じ料金で使える、そんなことなどをして、お互い協力し合って芸術文化の振興を図っていこうということなどを検討しているところです。

2月に菊地隆知版画記念館をすすめる会から市民美術館の設立のご要望をいただきましたが、その趣旨は十分理解しております。今後とも菊地隆知先生の作品も含め、他の多くの芸術文化作品、文化財を市民の皆様などに見ていただけるよう、市民の皆様や関係団体の皆様からご意見をいただきながら、市民美術館の設立を含め、展示、保管施設の確保や展示方法などについて検討してまいりたいと思います。

今後の次期総合計画や文化振興計画において、具体的な方針をお示ししたいと考えております。

○浅野敏明議長 14番、今泉春江議員。

○14番 今泉春江議員 ご丁寧に答弁をいただきました。

まず、補聴器購入助成についてですけども、昨日もちょっと答弁の中でありましたが、高齢者の基礎調査ということで、2年に一度、調査を行ってるというお話でした。こういうものがありまして、私たちにもアンケートも来まして。そして中を見ると、高齢者の難聴者という項目

は本当に1か所だけで、外出がどうしてもできないのかということで、耳が聞こえにくいからなんていうことで1か所だけの調査結果でした。

でも、先ほど市長の答弁によりますと、今年度、難聴者のための調査という項目も増やすとおっしゃってくださいました。やはり実態調査、そういう基礎調査というのが非常に大事だと思います。それによって補聴器が必要だという要望が多くあったということでありましたら、やはりその基礎調査を基に考えていただきたいと思います。財源としても、先ほど対象者やその金額とか、そういうものがちょっとはつきりしませんから、大体で50万円、60万円なんて申し上げましたけども、調査によっていろいろと違ってはくるとは思いますけども、ぜひまず基礎調査を行っていただいて、長井市の高齢者の難聴というものに対して実態調査ということを進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

それで、次の市道ですけども、今年度も改修の予定もあるということですので、まず危険な場所から順次改修していただきたいと思います。

あら町の石畳ですけども、今、市長からいろいろと提案いただきました。やはり長年使ってますと、いろんなリスクというか、非常にそういうところが目立ってきてしまって、本当に今年はあら町、気の毒なような道路の状況になっております。ぜひ市長がおっしゃったように、改修の手だてを考えていただきたいと思います。

市長からもおっしゃっていただきましたが、あら町の道路の案が出たときに、あら町の方が側溝の改修ということがありました。実際やっぱりあの石畳になりまして、道路が広がりましたね、側溝の部分がね。そういう点では非常に私は今までの道路と違って、広がったということで安全面もできたかなと、そういう点ではよかったなと思ってますけども、やはり使い勝

手が悪いということで、ぜひお考えいただいて、いろいろ市長がおっしゃいました、どれが一番いいのかということで、ご検討いただきたいと思います。まず本当に市民の安全・安心というものを優先していただきたいと思います。

そして、最後の美術館について、いろいろ市長のほうからお話ありました。私はやはり長井市が水と緑と花のまちと、こういう自然のものがあありますね、そこに文化がプラスになると、文化というのは人がつくり出す、これからもつくっていく、そういうものがプラスになるって、本当にすばらしいまちづくりというか、まちになるんでないかなと、何か胸がわくわくするような思いでございます。本当に文化というのはちょっとしたものであっても何か心が癒やされる、こういうコロナのときですから、本当にそういうものが私たちの大きな生きる力にもなると思います。

市長のほうからは、いろんな方法があるんでないかということでございました。昨日の議員の質問でも、デジタル化して見られるようにしたいと、非常に今風というか、最近のアイデアで、それも大変すばらしいことだと思います。でもやっぱり本物を見るということが、それに勝るものはないと思います。ですから、最終的には美術館と文化を発信する場所というか、そういうものが欲しいと思います。

やはり、特に版画なんかは、直射日光とかいろいろそういうもので劣化もするということも言われておりますし、やはり美術というものはそういう整った環境で見るとということが非常に必要だと思うんですね。将来的にそういうものを目指しつつ、長井市として今できることは何かと。まちなか美術館とか、これから考えられる公共複合施設の中とか様々な方法があると思います。そういうことを総合的に考えていただいて、最終的に美術館の設立という、その文化を発信する場所ができればなと思っております。

まずできることからということで、まちなかの美術館ということで、そういうものを造るための市長として援助というか、そういうものもお考えいただきたいと思いますけども、いかがでしょうか。

○浅野敏明議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

今泉議員おっしゃるように、特に地元のそういったすばらしい芸術家の方が残された作品を、やっぱりまずは市民の皆様、とりわけ次の若い世代の人たちにも、できれば子供のうちから見せたいものだなと思っております。

美術館については、なかなか整備手法としては難しいんですね。補助事業的なものはないので、今考えられるところ。ですから、先ほど言いました空き店舗とか空き家を活用した、リノベーションして、それをギャラリーにしたり、あるいはミニ美術館にする、テーマごとの美術館でいいと思うんですね。

これは、例えば空き家の対策の支援事業というのがありまして、そういったリノベーションする場合ですと3分の2の補助をもらったりとか、そういったことができますし、あとは美術館をどのぐらいの規模にするかによって違うんでしょうけども、やはりざっといって数億ではできませんので、数十億かかるだろうと。そういったときに、その財源もさることながら、運営が非常に難しいと。

したがって、今、私どものほうで文化のほうを非常にリスク、リスクっていいですか、もしかしたら間違った考え方なのかもしれませんけれども、観光交流と文化、要はそういった資源、財産を一緒に生かすということでの視点で、これを様々なまちづくりに生かしていくとした場合に、例えば文教の杜という一般財団があるわけですけども、やっぱり文教の杜がその担い手の一つの団体だと思ってるんですね。あとは市民の様々な団体がございますから、そういった

方々と手を取り合って芸術文化の振興を図っていかなきゃいけないんですが、ハードはもちろんですが、そういったまちづくりの機運を、そういった団体の皆様、あるいは文教の杜にも、いろいろ今後の展開を図る上でみんなで知恵を出し合って、どうしたらそういう美術館をずっと維持管理、運営できるかと、そして多くの方々に見ていただけるかという、そういった視点も併せて準備しながら検討してまいりたいと思っております。

ぜひ、今すぐにはできないかもしれませんが、これは決して諦めてはならないなと思っておりますので、引き続きご助言、ご提言などをいただければと思います。

○浅野敏明議長 14番、今泉春江議員。

○14番 今泉春江議員 大変前向きなご答弁でうれしく思います。

今この市役所が建ちました、この裏に親水公園というのがありますよね。今、親水公園って言うといいんでしょうかね、あそこに商工会議所の女性部がご寄附なされた彫刻がありますね、あれなんかも本当に、行ってみると、いやあ、かわいいなど、鳥が水辺にいて、旅行かばんが置いてあって、そこへ私も一緒に座ったり、本当にたまにですけども、そういうものを見ますと本当に心が癒やされます。

そして、台町の県営アパートがあるんですけども、ガードレールみたいなのが道路にありまして、ガードレールのところに小鳥がついてるんです。ああいうのを見ても私は、あら、かわいいなど。本当に豪華なものでなくても、やはりそういうものがまちなかにあるということが非常に、長井の文化の水準というか、そういうものも感じられるし、市民がほっとして、いやあ、かわいいねと感じるだけでも本当に心の癒やしになると思います。

ですから、市長も今おっしゃいましたけども、最終的には美術館というものもいろいろ計画の

中で考えていきつつ、市内のまちなか美術館というものも1か所だけでなく幾つかあって、長井市というのはどこへ行ってもいろんな美術品があったり、市民が発表する場所があったり、そういうものがあるって本当にいいよねって、買物のついでにちょっと寄ってみようねとか、子供も一緒に連れて行って見ようねとか、やはりそういう長井市が文化に取り組むという、そういう形ができていけばいいのかなと非常に思っております。何かそういうことを考えると、私、何かうれしくなって、本当にできるところから始めていただきたいと思います。

市長の答弁は、最終的には美術館というものも考えていかなくちやならないんでないかなど、いろんな課題はあるとおっしゃってますけど、当然でございます。やはりみんなで文化のまち長井をつくっていきたいと思います。本当に夢のある、夢だけじゃなくて、すぐ現実的なものになるんじゃないかなと思っております。市長、ぜひ進めていただきたいと思います。

最後にそこを申し上げて、私の質問を終わりたいと思います。

鈴木一則議員の質問

○浅野敏明議長 次に、順位7番、議席番号1番、鈴木一則議員。

(1番鈴木一則議員登壇)

○1番 鈴木一則議員 政新長井の鈴木一則でございます。よろしく願いいたします。

連日暑い日が続いていますが、関東甲信地方が昨日ようやく梅雨入りいたしました。1週間遅れということで、東北は今週末にかけてという予報のようです。毎年、異常気象による集中豪雨が発生していますので、災害発生時の対応を念頭に置かなくてはならない季節となつてき

ました。

新型コロナウイルス感染は県内では第四波の下げ止まり感が出ていますが、ゴールデンウィークの人出の影響がここまで延びている状況を感じる時、今後の観光などによる人の移動により、第五波という予想がされていますので、新型コロナウイルスワクチン接種による免疫抗体を持つ方の抑止効果を期待したいところです。

ワクチンを1回以上接種した人が国内で約14%になり、65歳以上の高齢者の1回接種は約33%、2回目も約6%という報道がありました。県内の65歳以上の方への接種状況は、1回目終了者が44%を超え、順調に進んでいると感じています。連日対応されている医療従事者や接種準備等に尽力されている皆さんに感謝申し上げます。

国では企業による職場接種や大学生の接種を進め、7月中には64歳以下の接種も進めたいとの意向ですが、インド株の感染の脅威も新たに出ていますので、東京オリンピックを控え、移動の活発な若い方への接種が少しでも早まってほしいと思います。

このたびの私の質問は2点です。順次ご質問をいたしますので、ご答弁よろしく願いいたします。

1つ目の質問は、新産業団地整備について、市長にお伺いをいたします。

初めに、新産業団地整備の進め方についてです。

3月、産業活力推進課より、長井市農村地域産業導入実施計画変更業務の令和2年度業務の成果物の概要について説明をいただきました。長井北地区とともに今泉地区が新規地区としての事前調査が行われ、整備に向けた一歩と理解したところです。

この実施計画では、長井北地区、いわゆる成田の工業団地の継続と今泉地区を想定した新規地区を導入する内容となっています。長井北地